



# 『被災地千葉県』

理事長 寺田 一郎

新年おめでとうございます。皆様にとって祝福された一年となりますようにお祈りいたします。

昨秋相次いだ台風では大きな風水害が各地で発生しました。ワーナーホームとしては大きな被害のあったところとは比べ物にならないかも知れませんが、一連の対応を記録しておくこととしました。

昨年九月九日午前三時頃、台風十五号が千葉市に上陸、最大瞬間風速五十七・五メートルを記録しました。かつてないような暴風雨で千葉県内、特に南房総を中心として大きな被害があり、停電が県内各地で発生しました。

本部周辺では道路の冠水や倒木もありましたが重大な物的被害はありませんでした。しかし各施設では四時半頃から停電となり、間もなくすべての施設で断水しました。ホレブ寮では十二日二十三時頃電力会社の電源車による通電が開始されましたが他の施設は十三日午後まで停電、断水が続きました。

千葉拠点ではフジエールの

窓ガラスが割れて畳が水浸しになりました。

長生及び柏では風水害、停電、断水いずれも発生していません。

県内で九十万軒に及んだとされる停電によって、ホレブ寮、だいち、WSしらすと、ホレブデイ、パンプキンハウスでは、暑い、暗い、トイレが自由に使えない、パソコンや電話が使えない、という生活が続きました。

付近のコンビニやガソリンスタンドは休業したところも多く、開店している店舗に客が殺到していました。

自宅が停電、断水している職員も多く、職員も被災者であり公私に亘る非常事態は終わりが見えずその疲弊が心配されました。このような状況にあっても職員は、利用者の普段の生活を維持するために過重な働きをしようとするので、経営者としての私は「普段と同じサービスはしなくて良い」ことを指示しました。

## 事業所点描

止まった電車から降ろされる駅で立ち往生している利用

者の救出には交通渋滞が問題でした。

・他市からの支援要請に応じた職員を派遣しました。

・ポルタ（千葉）では近隣施設の入居者に浴室を開放しました。

・ワークショップ兼取では下総精神科医療センターの倒木処理に環境整備班が活躍しました。

・困難な状況にあっても利用者や職員は、順応していました。

・大型洗濯機が使えなくなったホレブ寮では、コインランドリーを利用しましたがこれが大混雑でした。

・小学校や保育園の休校・休園によって出勤できない職員や子連れ出勤した職員もいました。

・小型発電機がホレブと千葉（ホレブに移動）に備えてありましたが、活用は水道ポンプやスポット照明に限定され、課題が残りました。

## 台風十九号と二十一号

十月十二日大型の台風十九号が十九時頃伊豆半島に上陸後、関東地方を北上しました。

予報では「これまでに経験したことのない記録的大雨」命を守る行動」が強調されました。千葉県では意外に雨量は少なく済みました。

二十五日、台風二十一号が低気圧に変わり、豪雨をもたらしました。ワーナーホームでは大網白里市内のグループホームと茂原市内のグループホームがギリギリのところまで浸水被害を免れました。たんぽぽセンターは無事でした。

## 今後への課題

今回の台風では、停電対策が課題として残りました。大型の自家発電装置はコスト面から実現は不可能です。そこで小型の発電機で最小限度の電源を確保することとしました。それによって食品保管と浄化槽の機能を維持することを最優先しようと考えています。四ヶ所の拠点ごとに周囲の災害時の状況も大方分かりましたので、それに合わせた事業所の対応策を整備する方針です。

情報の収集・伝達という点は、大きな課題です。現場では全体が見えず目の前のことへの対応に追われます。管理者が現場に向いてこそリアルに状況を把握できるということを実感した次第です。

# ワークショップ茂原・フジエール 改修工事完了!!

無事終了  
しました!

フジエールでは、相談室・夜勤室の改修工事を行い八月末日に工事が完了し九月から利用を開始しております。従来は、利用者の居室と同じ構造の一室を、相談室兼夜勤室として利用してまいりました。和室であり、畳の上にパイン椅子と机を設置し、かつ荷物も置いていたため、来客の度に雑然とした場を晒しては、恥ずかしい思いをしておりました。



この度の改修で、来訪者を迎える場と、職員のみが利用する場を分けることができ、それぞれの機能を適切に果たす環境が整備されたと思います。改修費用は一七六万円と高価ではありましたが、職員一同有効活用して参ります。  
(末永)

別室としました。新たな相談室は、六畳ほどの空間で壁はアイボリーのペイント仕上げ、ドアは木目調のダークブラウンで縦長に摺りガラスが入り、脇には摺りガラスの小窓もあります。清潔感と落ち着いた光の入る開放感がある空間となりました。来訪者等との相談に集中しやすい環境となりましたと思います。

ワークショップ茂原改修工事完了・長生生食パン販売  
九月二十七日よりワークショップ茂原二階部分の改修工事が始まり、十月九日に工事が終了しました。築三十四年の時代を感じる和の内装から一転、清潔感のある白色をベースとした洋の内装へと改修されました。食堂は広く明るくなり、利用者からも「新しくなって明るい気持ちでご飯が食べられる」「テレビも大きくなって最高!」と好評です。



なご体に優しい厳選食材を使用し、無添加にも関わらず天然酵母の効果でしっとり感が五日間続きます。「長生生食パン」は日ごとにおいしさが変化します。ここでおいしい食べ方をご紹介します。①一日目の焼きたては、もっちりもちもち、カットせず贅沢にそのままかぶりつのが美味しい!②二日目からは食感がしっとりに変化。お好みの厚さに切ってそのまま召し上がれ。パン切り包丁不用、ご家庭の包丁でも楽に切れます!③五日目は霧吹きで水を一吹き、トースターで軽くトーストすると、表面はカリッと、中はもちもちの食感に!ぜひ「長生生食パン」をお試し下さい。全国発送も可能ですので、贈り物にもぜひご利用下さい。  
(安藤)



# カトリア会交流会

会長 小川伸子



ワーナーホームの利用者の家族の会、カトリア会では、家族同士、直接会って、悩み事などを語り合いながら、親睦を深めていく場として、毎年、九月の第二日曜日に、「築地日本海」で、交流会を開いています。

今年は、七回目となりましたが、会員の出席者、十六名中、四名が初めて参加して下さり、とても嬉しく思いました。リピーターのお互い親しくなっていて、五月の総会ともども、毎年お会いできることを、とても楽しみにしておられるように思います。

寺田理事長、野老事務課長、山岡施設長、武藤施設長も同席して下さって、温かいお言葉を頂戴したりしながら、みんなで楽しく和やかに歓談しました。

また、一人一人、近況などを報告しあったのですが、抱えている悩みはあまりにも深刻で、短い時間内に打ち解けて、本音を話すことは、実際、難しいようにも思いました。私自身、弟の



ことでは、とても話せないようなことも、多々あります。でもそこは、障害者の家族同士ですので、おかれた状況やその気持ちは、お互いにわかり合えるように思いました。そして、お互いに考えさせられ、気づかされることもありました。このような機会を持てることを、毎回、ありがたく思います。

皆さんもぜひ参加されて、一緒に、五月の勉強会では、精神障害のことなどを学び合い、九月の交流会では、共に語り合い、励まし合いながら、交流を深めていきたいと思います。

新しい出会いを心より楽しみにしています。

# みんなのまつり

みんなのまつりの準備を本格的にする頃、台風十五号が関東に上陸し、千葉県を中心に甚大な被害を出しました。これにより停電、断水が続ぎ、さらに台風十九号が上陸。続いて前日には台風二十一号の影響による大雨の為大網駅周辺や茂原市、東金市の各地で冠水の被害、千葉県では土砂崩れなどの被害が出ました。

このような状況での準備は苦難を強いられ、当日は利用者、出店団体のスタッフも手伝ってくれて開始時間に間に合いました。

毎年恒例のバザーでは、提供品が集まらない中、地域の方から「今年は提供出来なくてすみません」という葉書をもらいました。また、近隣住民の方からは「三回も買いに行っちゃったよ」と声を掛けてくれました。

当日は朝から公共交通機関が運休となっている中、十七名のボランティアが参加してくれて、大きな戦力となりました。「笑顔、楽しい、丁寧、親切、優しい、繋がり」などの言葉をもらい、来場者、出店団体、出演者、みんなが笑顔で過ごした時間となり、改めて地域とのつながりに感謝をします。ありがとうございました。

(吉野)



## バザー

今年も恒例となりました、バザーを開催することができ多くの方にご来場いただきました。台風十五号の影響で準備段階では提供品がなかなか集まらず苦慮しましたが、地域の皆様のご協力により無事に開催することができました。

当日は豪雨の影響で来場者数は例年に比べ多くはありませんでした。時間をかけてじっくりと商品を選ばれる方の姿を見掛けました。ありがとうございました。

(杉本)



### ご協力 いただいた方々

〈出演者〉

- 代々木パストラール様
- マリンハウス様
- B・R・O・S・E様
- 東金マジック・クラブ様
- ハッピーマウス様
- 千葉ダルク様
- クラウンTOTO様

※順不同

〈出店団体〉

- NPO法人ウイズARUKU様
- 社会福祉法人日吉会救護施設房総平和園様
- クロスブリッジ東金様
- ハンドワーク様
- 社会福祉法人福徳会特別養護老人ホーム吉祥苑様
- さんさんBe様
- AHCグループ(TODAY都町様)
- カイロオアシスオサダ様
- あゆみの家様
- ラポール・ほのか様

〈ボランティア〉

- 淑徳大学様
- 城西国際大学様
- 植草学園大学様
- 幕張総合高等学校様
- 大網白里市社会福祉協議会様
- 元職員様

# 2020年 サービス管理責任者 新年のご挨拶



ホレブデザイナーサービスセンター  
古市 優人

今年度、ホレブデザイナーサービスセンターでは地域からの新しい利用者が目立ちました。多くの方に利用いただけるよう、送迎の面ではワークシヨップしらすと、入浴の介助の面ではホレブ寮と協力をしながら毎日三十名ほどの利用者を受け入れてきました。来年度からは、更なる利用者の受け入れを拡大するために定員数の変更をします。



ワークシヨップしらすと  
縫山 清

入職して十回目の新年を迎えました。職員が長く働きやすい職場であることが事業所の強みです。利用者数も増え障害も多岐に渡りきめ細かい個別支援が求められています。利用者職員が汗を流し共に働く喜びを感じられる事業所でありたいと願っています。初心に戻り、「日々新た」をモットーに今年も元気に頑張ります。



ヘルパーステーションそら  
香山 恵美

二〇二〇年九月のサービス開始より、近隣の市町村にお住いの皆様のお宅を訪問しています。地域生活を支える為、体調や病状に合わせた食事作りや掃除・洗濯等、必要なサービスを個別のプログラムでおこなっています。小規模な事業所の良さを生かし、皆様に寄り添ったきめ細やかな支援を目指します。



だいち  
小笠原 乙貴

だいちの職員は、とにかく明るく個性的な面々の集まりです。そんな私たちは、利用者の皆さんの希望や自由を尊重し、互いに支え合い、学び合い、認め合う思いをモットーにして支援を行っています。今年度は、利用者一人ひとりが自立した生活を目指し、次のステップに進む後押しができる事業所にしたいと考えています。



ぶらり  
森 敦生

「ぶらり」は新築で生活用品を購入できる店舗が近く、駅まで徒歩五分と環境の良い場所にあります。また、長生地域生活支援センター・長生ブリオが近くにあることで生活・就労・福祉サービスの相談が直ぐに出来るのが魅力です。今年度は、一年目の経験を活かし、取り組みたいと思います。

あけましておめでとうございます。



エクラス  
齊藤 聡美

謹んで新年のお喜びを申しあげます。サービス管理責任者として着任し一年が経ちました。力不足なところも多く職員や利用者の方々に助けられ日々を過ごしています。  
今年度もエクラスは「美味しい食事と、きれいな住まい」を合言葉に初心を忘れることなく、皆で協力し合い、より良い暮らしを支援していきたいと思えます。



すくすく北柏  
渡部 真弓

四月に児童発達支援・低学年の放課後等デイサービスを開所しました。  
退院後、地域で生活する中でどこに頼ればいいのか、誰に相談すればいいのか分からない等の保護者の悩みや不安に寄り添える場でありたい。  
そしてすくすく北柏に通っている子ども達がたくさんさんのことを経験できる場になれるよう頑張っていきたいと思えます。



ワークシヨップ茂原  
安藤 かおり

あけましておめでとうございます。  
昨年は、利用者の皆さんと兔に角笑った一年であったと思います。  
ワークシヨップ茂原は皆がお互いを思いやり、尊重し合い、良い刺激を受けられる、そしてユニークな事業所だと思えます。今年もワークシヨップ茂原が明るく前向きに活動していけるよう頑張ります!!また、今まで皆さんに沢山支えてもらい今に至っておりますが、今年こそ！私が利用者の皆さんの支えや助けになれるよう、勉強を重ね真面目に職務にあたって参ります。本年もよろしくお願ひ致します。



ペジーブル柏  
菅井 秀子

ペジーブル柏の職員半数以上は福祉に携わるのが初めてでした。  
「パンが好き」「お客様に喜んでほしい」という想いで出会い、その想いは、利用者への関りに現れ、職員二人ひとりの目線が様々な形で「ペジーブルらしさ」を形作っています。来年もペジーブルのパンと同じく、更に味わい深い事業所になる事が目標です。



ワークシヨップ鎌取  
木村 隆徳

ワナーホームに就職し二回目のお正月を迎えることが出来ました。これも、私を支えて下さる、先輩職員や同僚、利用者の方々のおかげです。三年目になる来年度も初心を忘れることなく、利用者の方に少しでも良い支援が提供出来るよう、精進していきますので、これからもご指導のほどよろしくお願い致します。



すくすく  
前澤 直基

児童発達管理責任者になり二年が経過しました。利用児との日々の関わりや保護者とのやり取りを通じて療育の楽しさを実感しています。  
利用児の体調の変化に対応できるスタッフが揃い、保護者も安心して預けてくれます。安全を保障しつつ利用児が楽しい・嬉しいを感じてくれるすくすくを今年も作っていききたいと思います。

# 台風十五号の被害

## 本部拠点

この度の台風被災に際し心よりお見舞いを申し上げます。本部拠点は、台風十五号により、九月九日から十三日まで停電と断水が発生しました。

居住系の事業所では、夜間の照明にランタンや懐中電灯を使用、トイレ用の水を確保するために発電機を井戸ポンプにつなげ、大きなバケツに何度も汲んで対応しました。

通所系の事業所は、安全確保のため、プログラムの縮小や



変更での開所、又は閉所としました。

相談系の事業所は、電話も通じないために地域利用者の自宅を回り、安否確認を行いました。

幸い、建物への重大な被害は受けなかったものの、利用者の健康管理に努め、水分補給や清拭、バイタルチェックに追われている日々でした。

そのような状況で、利用者が職員を気遣ってくれたこともありました。また、高圧電源車の手配や、食品等の差し入れ、お見舞いの言葉、お手紙と、多くの方に支えられていることを改めて実感し、人々の温かさを感じることができたことに感謝しています。ありがとうございます。(武藤)



## 千葉拠点

台風十五号では、九月九日未明、夕方にかけて停電と断水の被害を受け、敷地内で倒木が発生しました。ワークショップ兼取の環境整備班を中心に倒木処理を行いました。また、ページブル兼取のパンを本部へ差し入れました。

フジエールでは強風で窓ガラスが破損し、四名が食堂や共有スペースにて一晩を過ごしました。また、停電が続いた近隣事業所の利用者四十名にお風呂を提供しました。

台風二十一号では、ポルタ外階段の二段目まで水があがりましたが、緑消防署に依頼し、排水溝の詰まりを除去してもらいました。また、電車で帰れなくなった利用者三名をフジエール・ポルタで一泊引き受けました。(北條)



# 台風二十一号による大雨被害

## だいち

台風十五号は千葉市に上陸、山武圏域では停電と断水が各地に発生しました。だいちでも各ホームが数日間停電と断水に見舞われました。幸いなことに事務所のあるだいちでは停電が起らなかった為、炊き出しでおにぎりを作ったり、だいちを開放して、エアコンの効いた部屋で休んでもらうなどの対応をしました。

台風二十一号では予想を超える大雨にあちこちの川が氾濫、だいち前の道路も十三時頃から冠水が始まり、夕方には膝上まで水が来る程でした。駐車場の車を移動させたり、利用者の所在確認や送迎など、様々な対応に追われました。だいちの建物自体はギリギリの所で浸水を免れました。(小笠原)



## ぶらり

台風十五号が九月九日の早朝、千葉県を通過。県内では広範囲に渡り被害が出ている中、ぶらりでは被害はありませんでした。本部拠点や職員宅が停電・断水だったのでぶらりの浴室と洗濯機を譲り合いながら利用しました。台風二十一号の影響で茂原市内の河川が氾濫し、市内では多くの地域で浸水しました。ぶらり前道路は冠水。利用者を二階に避難させました。中には受診先から帰所出来なく親類宅に避難した方もいました。幸いなことに建物の浸水はありませんでしたが、入口階段二段目まで水没しました。今回の災害で事前準備・対応策を検討する事が必要であると思われました。(森敦)



# ワーナーホーム ワーキングパパ

## ～ 目指せイクメン～



就労移行支援事業  
就労継続支援B型事業  
**ワークシヨップ鎌取**  
主任・目標工賃達成指導員  
**長妻 雄太**

### ●● 1日の流れ ●●

|       |                        |
|-------|------------------------|
| 5:45  | 起床・洗濯、食器洗い、ゴミ出しのどれかを行う |
| 7:15  | 朝食                     |
| 7:35  | 出発                     |
| 8:30  | 出勤                     |
| 17:30 | 退勤                     |
| 18:30 | 帰宅                     |
| 19:30 | 子供とお風呂                 |
| 20:00 | 子供寝かしつけ                |
| 20:30 | 夕食                     |
| 22:00 | 就寝(だいたいリビングで寝落ち)       |



二〇一八年七月七日(七夕)に入籍、同十二月十日には第一子となる長女が誕生し、四十才目前にして、ようやく家庭というものをもった私ですが、家庭を持つてみると、それまでに比べて一年の間にいろいろな変化がありました。これがよく聞く仕事と家庭の両立ってやつなんだと思います。子育ては仕事とは違って経験した事ないものばかり!!娘の様子を見ては日々体調に変化が無いか心配する日々です。ワーナーの職員でもある奥さんには一年の育児に入ってもらい、傍でわが子を育ててもらっていますが、何せ二人とも初経験(当たり前といえば当たり前ですが)やることなすこと不安だらけです。年末には泣き止まないわが子が心配で、初の夜間救急に出発したところ、車の中で子供が寝始めてしまい：案の定、病院では「どこも悪くないです」なんて言われてしまいました(笑)

二〇一九年四月には実家を離れ引っ越し。十一月には遅めの結婚式を挙げ、理事長や職員のみなさんにも出席して頂き、お祝いしてもらいました。そんな中、このイキシアが発行される頃には奥さんも職場復帰を果たし、共働きの生活が始まると思います。子供の保育園も始まり、送迎に翌日の持ち物の準備、これまでに以上に忙しくなりますが、仕事に家事に育児にこれからも二人で協力してがんばってきたいと思っています。

### ワナーホームの主な動き

#### 《九月》

- ・交流会「就労を続けていくには」／山武プリオ
- ・障害者雇用担当者向け支援セミナー／山武プリオ
- ・秋レク／ワークショップしらすと



- ・多職種が行う事例検討会／みつばち訪問看護ステーション
- ・メンタルBBQ／長生地域生活支援センター・ぶらり合同
- ・長生村茶話会・ぶらり合同BBQ／ぶらり
- ・流しそうめん&バーベキュー大会／千葉拠点



#### 《十月》

- ・多職種が行う事例検討会／

みつばち訪問看護ステーション

- ・みんなのまつり
- ・ハロウィン装飾・クッキー作り／すすく・すすく北柏



芋堀&コスモス摘みツアー／長生地域生活支援センター



#### 《十一月》

- ・ペジブル柏二周年祭／ペジブル柏
- ・多職種が行う事例検討会／みつばち訪問看護ステーション
- ・地域意見交換会／山武プリオ
- ・パラスポーツ体験会／ワークショップしらすと
- ・母の会バザー（ペジブル柏二周年祭にて）／すすく

すすく北柏

外出プログラム／長生地域生活支援センター

お出かけツアー「千葉県航空博物館」／ホレブレイサービ

スセンター  
かしわパン祭り／ペジブル柏



#### 《十二月》

- ・交流会「アンガーマネージメント」／山武プリオ
- ・クリスマス会／すすく
- ・クリスマス会／本部拠点
- ・クリスマス会／長生拠点
- ・クリスマス会／千葉拠点
- ・クリスマス会／たんぼぼセンター
- ・地域活動支援センター
- ・クリスマス会／わたげワークス
- ・そばの会／長生地域生活支援センター
- ・年末レク／ホレブ寮・ノバハイツ白里合同
- ・忘年会／ワークショップしらすと
- ・忘年会／ぶらり

### イキシア入会のお願い

イキシア会は利用者とそのご家族及び一般有志からなるワナーホームの支援団体です。活動においてご理解をいただき、ご支援・ご協力を賜ります様宜しくお願い致します。

広報イキシアは年三回（一月・五月・九月）発行されます。

#### 〈会費〉

- 賛助会員 三,〇〇〇円（年）
- 正会員 一〇,〇〇〇円（年）

### 編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年は台風被害がありました。ワナーホームはたくさんの方に支えられ無事に新年を迎えることができました。感謝致します。今年もご愛読いただける様、頑張っていきますので宜しくお願い致します。

(A)

発行所 **ワナーホーム  
イキシア会**

千葉県大網白里市細草3215

電話 0475-77-2100(代)

URL <http://www.wanahome.or.jp>

発行人 寺田 一郎